



記載例

捨印を押印して下さい。
(申請者印と同一印)

法人の場合には
「△△△(株) 代表取締役○○○
○」と
記入して下さい。(ゴム印可)

様式第4号の2

農地法第5条第1項の規定による許可申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

該当するものに○をして下さい。

長野県知事 阿 部 守 一 殿

譲受人氏名 千 曲 太 郎 ㊞

譲渡人氏名 長 野 次 郎 ㊞

(千曲市農業委員会経由)

下記によって転用のため農地(採草放牧地)の権利を設定、移転したいので、農地法第5条第1項の規定によって許可を申請します。

1. 当事者の氏名住所及び職業	当事者の別	氏 名		住 所						職 業		
	譲受人	千 曲 太 郎		長野 都道府県		千曲 郡市	大字 杭瀬下 町村	8 4 番地		会社員		
	譲渡人	長 野 次 郎		長野 都道府県		千曲 郡市	上山田温泉 4丁目 町村	1 5 - 1 番地		農 業		
2. 許可を受けようとする土地の所在・地番・地目・面積・利用状況・普通収穫高及び耕作者の氏名	土地の所在	地 番	地 目		面 積 ㎡	利用状況	10a当たり 普通収穫高	所有者氏名	耕作者氏名	農振地域、農用地 区域、都市計画区 域の用途区分の別		
	登記簿	現 況										
	千曲市 大字 戸倉 社宮地	〇〇―△	田	田	3 5 0	水稻		長野次郎	同左	第1種住居地域		
3. 転用計画	「住宅敷地」、「駐車場」等具体的に記入して下さい。		計	3 5 0 ㎡ (田 3 5 0 ㎡ 畑 ㎡ 採草放牧地 ㎡)								
	(1) 転用の目的	用 途	(2) 権利を設定し、または移転しようとする事由の詳細									
		住宅敷地	現在アパートを借りて住んでいるので、申請地に住宅を建築したい。 ・転用行為(住宅を建築する等)が必要な理由及び計画等詳細に記入して下さい。 ・書ききれない場合は、この欄を「別紙のとおり」とし、別紙(事業計画書)を作成して下さい。									
(3) 事業の操業期間または利用		許 可 日 年 月 日から 永 年間										
(4) 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要	工事計画	第1期 (着工〇〇年〇〇月〇〇日から 〇〇年〇〇月〇〇日まで)				第2期 (着 年 月 日まで)						
		名 称	棟 数	建築面積	所要面積	棟 数	建築面積	所要面積	棟 数	建築面積	所要面積	
	土地造成					350㎡			㎡			350㎡
	建築物	住 宅		1	150㎡			㎡	1	150㎡		
		建物の名称を記入して下さい。										
	小計			1	150㎡				1	150㎡		
	工作物											
	小計											
計			1	150㎡	350㎡				1	150㎡	350㎡	
4. 権利を設定、移転証とする契約の内容	権利の種類	権利の設定、移転の別		権利の設定、移転の時期		権利の存続期間		その他				
	所有権	設 定 ・ 移 転		許可後		永年間		売買				
5. 資金調達についての計画	別紙のとおり											
6. 転用することによって生ずる付近の土地、作物、家畜等の被害防除施設の概要	別紙のとおり											
	該当するものに○をして下さい。											
7. その他参考となるべき事項	「〇年〇月〇日から」あるいは「許可後」と記入して下さい。 (上記3. 転用計画(3) と合せて下さい。)											
	・所有権(売買・贈与) → 移転 ・賃貸借権 → 設定 ・使用貸借権 → 設定											

一記載例一

1. 造成を伴う場合（駐車場、資材置場、住宅、店舗、工場等）					
(1) 転用地からの土砂の流出、崩壊等に対する被害防除措置					
①法面保護の概要（擁壁等） ・直接農地と接する場所には4 mの段差があり、法面が生じるので、コンクリート擁壁により土留を施工し、周辺農地への土砂等の流出を防止する。					
②造成工事中の措置 ・掘削面にはシート等で覆面をして、法面が崩れるのを防ぐ。 ・周辺の農地に粉塵が飛散しないよう建築敷地周辺に防塵ネットを設置する。					
③境界立会の有無		(有)	令和〇〇年〇〇月〇〇日	無	予定年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日
(2) 農業用排水施設の機能に支障を及ぼさないための被害防除措置					
①雨水の排水方法 ・雨水等の流出を防ぐため側溝工を優先して着手する。 ・排水については、計画区域内の最下流部に防災調整値を設置し、周辺の農地に影響が出ないよう調整しながら下流へ排水する。					
②用排水の機能に対する措置 ・工事中、現在流れている水量を確保するよう仮設水路を設置する。 ・用水路については、本計画地にそって2箇所用水路があるため、下流域に影響のないよう現況のまま残しておく。					
2. 構築物の建設を伴うもの（住宅、店舗、工場等）					
(1) 周辺農地の日照、通風等に支障を及ぼさないための被害防除措置					
①緩衝地（建物からの距離）、緑地等の概要 ・隣接農地から建物を〇〇m離して建てるので、隣接のうちに日照、通風に影響はない。 ・計画建物は2階であり計画農地の西側は6 mの市道になっているので、指導の西側に位置する農地の日照、通風に影響はない。 ・計画地周辺部への日照、通風の影響を緩和するため、都市計画法による開発基準に基づき、境界部に緩衝帯を設置するので、計画地北側及び東側にある隣接農地への日照、通風の影響は軽微である。 ・計画建物は2階建であり、計画地の西側に位置するため、計画地の東側、南側に位置する農地には日照及び通風の支障は軽微である。					
②建物の高さ ・建物の高さを2階に抑えたので、近隣への日照面での影響は軽微である。 ・建物は平屋であるため、夏期においては、終日、日照が得られ、春分時期でも隣接の畑の一部に影が伸びる程度であり、作付への影響はない。					
③その他（光り遮断措置、防風ネットの措置） ・夜間の駐車場の照明は切ることとしており、店舗の窓は極力小さくしてあるので、照明の影響はほとんどない。 ・夜間の店舗照明の影響がないよう隣接農地との境に照明の遮断塀を設置する。 ・建物の建造により、風の方向が変わり風力が増すので防風ネットを設置する。					
(2) 農業用排水施設の機能に支障を及ぼさないための被害防除措置					
①汚水の排水方法 ・汚水排水は、公共下水道に放流する。関係機関との調整を了しています。					
②用排水の機能に対する措置 ・工事中、現在流れている水量を確保するよう仮設水路を設置する。 ・用水路については、本計画地にそって2箇所用水路があるため、下流域に影響のないよう現況のまま残しておく。					
3. その他の事由により周辺の営農条件に影響を及ぼすおそれがあるものと認められる場合					
発生の内容とその被害防除措置					
粉塵	・粉塵が飛散しないよう散水をする。 ・敷地周囲に防塵ネットを設置する。				
捨石	・造成工事により出た石は、別の地域に運搬し、隣接農地等に入らないようにする。				
砂利採取	・砂利の運搬中に、運搬車両から積み砂利が隣接農地等に落下しないようシートで防御する。 ・砂利採取により、隣接農地が沈下しないよう採掘箇所は隣接地から十分距離をとる。				

4. 隣接農地耕作者への転用事業内容説明			
隣 接 者	〔隣接地番：〇〇〇〇―△〕	(説明日)令和〇〇年〇〇月〇〇日	同意の有無 該当に ☐
	住所 千曲市大字〇〇〇 △△△番地	氏名 ☐ ☐ ☐ ☐	☒ ・無
	〔隣接地番：〕	(説明日)令和 年 月 日	同意の有無 該当に ☐
	住所	氏名	有・無
	〔隣接地番：〕	(説明日)令和 年 月 日	同意の有無 該当に ☐
	住所	氏名	有・無
〔隣接地番：〕	(説明日)令和 年 月 日	同意の有無 該当に ☐	
住所	氏名	有・無	
説明のとき問題になったこと			
※ 隣接農地耕作者に対し、図面等を提示して転用事業内容について事前説明を行い、隣接農地耕作者の住所、氏名、隣接地番、説明日を記載し、同意の有無について確認をして下さい。 ※ また、説明のときに問題となったことがあれば記載して下さい。			

上記のとおり被害防除措置をとります。

隣接耕作者に対し、図面等を提示して転用事業内容について事前説明を行いました。

農 地 転 用 事 業 者 ☐ ☐ ☐ ☐

転用事業内容説明者 ☐ ☐ ☐ ☐ 印